

ベトナム国タイビン省にある国立タイビン医科薬科大学と当社との共同事業であるベトナム人看護師養成事業について、最新の情報をお届けします。

▶ 第113回看護師国家試験を受験しました

2月11日、7名の受験生が第113回看護師国家試験を受験しました。

今年は受験の日程がベトナムのお正月（テト）と重なってしまい、受験生は家族や友達とお祝いできない寂しさがあったと思います。しかし、この1年努力してきた成果を出し切ろうと、試験当日会場へ向かう電車の中でも問題を解いている姿が見られました。不安や緊張、慣れない電車移動が重なって少し気分が悪くなってしまった受験生もいましたが、全員が最後まで無事に受験を終えることができました。受験を終えて会場から出てきた受験生たちの顔を見るとすっきりとした表情をしており、全力を尽くしてきた様子が伺えました。そして翌日、7名は無事にベトナムへ帰国し、それぞれの故郷へ帰りました。

受験を終えた今は、自己採点の結果を見てそれぞれが違った思いを抱えていることでしょうか。しかし、合格を目指して多くの困難を乗り越えながら努力を積み重ねてきたのはみんな同じです。これまでがんばってきた自分を労って故郷で十分に休息をとり、テトのお祝いを我慢した分まで楽しく充実した時間を過ごしてほしいと思います。そして、いい報せが届くのを待っています。

合格発表は3月22日です。



* 講師から見た受験生 *

無事に国試受験を終えることができた陰に、国試対策講義の講師を務めていただいた Dam Thi Nhung（ダム ティ ニュン）さんのサポートがありました。Nhungさんは日本コースの2期生で、今回を含めて3年講師を務めていただいています。国試対策講義開始時から国試受験まで、受験生はどんな様子で勉強していたのか、Nhungさんに聞いてみました。

国試対策講義が始まったころはわからない専門用語が多く、自分に合った勉強方法が見つからず少し大変そうでしたが、懸命に努力し、決意した後、徐々に慣れ、学習のスピードと理解度も徐々に上がってきました。テストで高得点を取れなかったとき、勉強をする意欲を失うときもありましたが、「やめたい」とは一度も言ったことはありません。それぞれ自分に合った勉強方法を見つけるため、積極的にいろいろな勉強方法を試し、講義で学んだ知識に加えて、関連する知識を積極的に読み、過去問題や模擬テストなどに取り組んだり、復習したりと努力していました。そう聞くと、学生たちは毎日朝から夜までずっと勉強するというイメージがあるかもしれませんが、実はそうではなく、勉強と遊びを両立することもできます。時々外出して、ベトナムで働いている日本人やベトナムに旅行している日本人などと交流することで、聴解力も会話能力も上がりました。

Nhungさんのお話から、受験生が強い意志を持って国試対策に取り組んできたことが伝わりました。試行錯誤しながらもみんなが最後まで勉強を続けられたのは、一人一人に寄り添ってサポートして下さったNhungさんの存在があったからでしょう。みんながNhungさんに笑顔で結果報告できることを願います。

【問い合わせ】



株式会社イノベーションオブメディカルサービス

（担当：福田・霜鳥）

神奈川県厚木市船子 587-1

Tel/046-220-0777

Fax/046-220-0711

Web/http://vietnam-nurse.com/